

6.15

2000/NO.922

奈良

お知らせ号

しみんだより

奈良市のシンボル



ナラヤエザクラ



イチイガシ



ウグイス

▶食中毒が多発する季節です。予防に心がけましょう。



世界遺産 春日山原始林

児童手当（義務教育就学前児童が対象・所得制限があります）の申請はお早めに。くわしくは市役所児童課へ。

「一票の力でつくる

みんなの暮らし」

衆議院議員総選挙

最高裁判所裁判官国民審査は、

6月25日(日)が投票日です。

みんなそろって投票しましょう。

行政

巡回婦人相談室

女性の持つさまざまな問題に関する相談の場を、県婦人相談所が開きます。

とき：7月18日(火)午前10時～午後3時

▼問い合わせ：同所 ☎二二一四〇八

みどり園通園児募集

総合福祉センター内みどり園では、零歳から就学前の身体の不自由な子どもたちや言葉の発達に何らかの遅れがみられる子どもたちを対象に、母子通

園指導を行っています。

通園を希望する人、子どもの発達について心配している人は、気軽に相談してください。

くわしくは、同園（左京五丁目七二〇七七〇）へ。

聞こえますか 子どもからのSOS

子どものすこやかな成長と支え合う地域をめざして

家庭の中で、子どもが虐待されていても、周囲にはわかりにくいものです。地域のあたたかなまなざしは、子どもを救うばかりではなく、悩んでいる親を、支えることになるのです。

子どものSOSに気づいたら、近くの児童委員や県中央児童相談所（紀寺町 ☎二六―三七七八）または市役所

児童課へ早めに連絡・相談してください。

「虐待でなかったらどうしよう」と不安を感じる必要はありません。児童相談所では、専門の職員が調査、指導し、必要な場合は子どもを緊急に保護したり、施設入所させたりします。連絡をしてくれた人の秘密は守ります。あなたの一報が子どもの命を救います。ぜひ協力してください。

催し・教室

サン・アビリティーズ奈良

〒631-0800左京五丁目三三ー一
☎七二一〇七七五 傳七二一〇七七三
療育キャンプ

自然の中で楽しみながら交流を深め、心身のやすらぎと健康の増進を図るため、奈良YMCAの協力で開きます。

肢体不自由児・者療育キャンプと

とき：7月25日(火)・26日(水)泊2日 ▼

ところ：京都府立南山城少年自然の家（相楽郡南山城村） ▼定員：身体障害者手帳を所持する6歳以上の肢体不自由児・者15人（付き添いの保護者は除く）

知的障がい児・者親子療育キャンプ

とき：8月7日(月)・8日(火)泊2日

▼ところ：京都府立南山城少年自然の家（相楽郡南山城村） ▼定員：療育手帳を所持する12歳以上の知的障がい児・者とその保護者15組

【申し込み】同館備え付けの用紙に必要事項を書き、7月11日必着で同館へ。多い場合は抽選。

障がい者職業相談 とき：7月28日(金)午後1時半 ▼相談員：奈良公共職

業安定所専門相談員 ▼申し込み：来館またははがき、フアクシミリに住所、氏名、生年月日、電話番号、障がいの種別・程度を書いて、7月21日までに同所へ。視覚障がい者のみ電話受付可。

女性学講座

ドメスティック・バイオレンス

～一人で悩まないために～

ドメスティック・バイオレンス（夫やパートナーからの暴力DV）の解決に向けて、一緒に考えてみませんか。

とき・内容：①7月12日(水)・深刻なDVの実態！②7月18日(火)・何がDVの背景になっているのか？③7月25日(火)・DVの解決に向けて。時間はいずれも午後1時半～3時 ▼ところ：生涯学習センター（杉ヶ町） ▼定員：女性30人。在勤も可 ▼講師：弁護士

の川村容子さん ▼受講料：無料 ▼その他：託児あり（2歳～就学前まで）

無料 ▼申し込み：はがきに住所、氏名、年齢、電話番号、託児希望者は子どもの名前、年齢を書いて、6月30日までに市役所女性政策課へ。電話も可。

多い場合は抽選。

奈良マーチャントシードセンター

〒630-8217橋本町三三ー一
☎二七一九四〇〇 傳二七一九四〇一

第2回奈良商人塾「21世紀を生き残る為の8講座」 とき：7月12日(水)午後7時～9時 ▼講師・テーマ：神戸商科大学商経学部教授の下崎千代子さん「人間のやる気について」 ▼定員：50人 ▼受講料：無料 ▼申し込み

：往復はがきにセミナー名、住所、氏

名、年齢、職業、電話番号を書いて、7月5日必着で同センターへ。フアックシミリも可。多い場合は抽選。

勤労者総合福祉センター

(サン・アクティブ奈良)

〒630-0106 後醍醐町二五 ☎七二一四四四

パソコン初級教室 (水曜日コース)

とき：7月19日、9月6日の毎週水曜日午後6時半～8時半。8回 ▼定員：10人。在勤も可 ▼内容：ウインドウズと一太郎の操作 (文書作成) ▼受講料：6千700円 (教材費を含む)

パソコン初級教室 (金曜日コース)

とき：7月14日、9月8日の毎週金曜日 (7月21日を除く) 午後6時半～8時半。8回 ▼定員：10人。在勤も可 ▼内容：ウインドウズとロータス1-2-3の操作 (表計算) ▼受講料：6千700円 (教材費を含む)

パソコン初級教室 (水曜日午後コース)

とき：7月19日、9月6日の毎週水曜日午後3時～5時。8回 ▼定員：10人。在勤も可 ▼内容：ウインドウズと一太郎の操作 (文書作成) ▼受講料：6千700円 (教材費を含む) ▼申し込み 往復はがきに教室・コース名、住所、氏名、電話番号、勤務先を書いて、6月28日必着で同センターへ。1枚に一人1教室1コース限り。多い場合は抽選。

青森・大津・尾道市の子どもたちとの交流事業

平成10年、ともに市制一〇〇周年を迎えた奈良・青森・大津・尾道市の子どもたちが、お互いの街の良さや特色を理解し、将来に向けて交流を深めよ

うと開きます。

とき：8月8日(火)～10日(木)泊3日

▼ところ：尾道市 ▼内容：歓迎式、古寺・文学のこみちめぐり、海洋教室 (マリンジェット、海上カヌー、ドラゴンボート、クルージングほか)、多々羅大橋を歩いて渡ろう、巨大帆布画の共同制作、ベルセウス座流星群観察など ▼定員：小学6年生15人 (男女各7～8人) ▼参加料：無料。事前研修の昼食代千円、交通費などは自己負担 ▼申し込み：はがきに催し名、住所、氏名 (ふりがな)、学校名、学年、保護者名、電話番号、生年月日を書いて、7月3日までに市役所社会教育課へ。多い場合は抽選 ▼その他：7月21日、8月2日に事前研修をします。くわしくは、同課へ。

コーラスフェスティバル

市内で活躍しているママさんコーラスグループのみなさんによる美しい歌声を楽しんでください。

とき：7月19日

(水)午後1時 ▼ところ：なら一〇〇年會館中ホール (三条宮前町)

▼出演：奈良市ママさんコーラス協議会団体会員 ▼入場整理券：市役所文化振興課、西部・北部出張所、なら一〇〇年會館、史跡文化センター、ならまちセンターで6月15日から発行。



くわしくは、市役所文化振興課へ。

6月30日は国民年金保険料6月分の納期限です。納付には便利な口座振替を利用してください。

なら100年會館自主事業

「良弁杉由来～二月堂～」歌舞伎公演の出演者募集

歌舞伎を通して子どもからおとなまで幅広いみなさんに、日本の文化を理解してもらおうと、東大寺の初代別当良弁僧正の物語で歌舞伎の名作「良弁杉由来～二月堂～」を来年2月17日に同館大ホールで上演します。



この上演にあたり、現在活躍中の歌舞伎役者とともに舞台上立つ共演者を募集します。歌舞伎に興味のある人や役者志望の人、自分の可能性を広げてみたい人など、奮って応募してください。

▶定員…小学3年生以上で毎月1回程度自費で稽古に参加できる人20人。プロ、アマチュア、経験、性別を問いません ▶選考方法…書類審査とオーディション (8月中旬) ▶申し込み…同館、各出張所・公民館などに備え付けの応募用紙に必要事項を書いて、7月17日必着で同館 (〒630-8121 三条宮前町7-1 ☎34-0100) へ。 ※制作スタッフ (舞台大道具、小道具関係) も募集しています。くわしくは、同館へ。

AN INVITATION TO A CHILDREN'S MEETING IN NARA
"LET'S PLAY WITH PEOPLE FROM OVERSEAS"

外国人留学生との交歓のつどい

▶とき…7月20日(祝) 午前10時～午後2時半

▶ところ…一条高校 (法華寺町)

▶定員…小学4年～中学生150人。外国人留学生歓迎 ▶内容…外国人留学生との交歓レクリエーション、アトラクションなど



▶参加料…300円 ▶申し込み…往復はがきに住所、氏名、性別、電話番号、学校名、学年を書いて、7月5日必着で外国人留学生との交歓のつどい実行委員会 (〒630-8001 法華寺町1351 一条高校内) へ。1枚に一人限り。多い場合は抽選。くわしくは、市役所社会教育課へ。

Help of people from overseas is essential for this event.

TIME: July 20 (THU) 10:00 ~ 14:30

PLACE: Nara Municipal Ichijo Senior High School

REFERENCE: The English Interact Club of Ichijo Senior High School (☎33-7075)

6月30日は市・県民税(全期または第1期分)の納期限です。納税は便利で確実な口座振替を利用してください。

ならまちわらべうたフェスタ二〇〇〇お手玉大会

ならまち振興財団が開きます。わらべうたを口づさみながら、子どもからお年寄りまでいっしょに楽しめます。成績優秀者は8月27日に愛媛県で行われる全国大会に出場できます。

とき：7月16日(日)予選は午後1時、決勝は午後3時 ▼ところ：ならまちセンター(東寺林町) ▼申し込み：音声館、ならまちセンター、ならまち振興館、市役所文化振興課に備え付けの応募要項を見て、6月30日必着で音声館(〒630-8335 鳴川町三二一) ☎二七七七〇〇へ。要項を郵送で希望する人は、90円切手を貼った返信用封筒を6月23日までに音声館へ。

写真美術館

〒630-8301 高畑町六〇〇一 ☎二二九九八二 三二九九七三二
夏休み写真教室「親子で作るピンホールカメラ教室」
親子でピンホールカメラ(針穴写真機)の製作、撮影、現像、プリントを行い、カメラの基本原理と写真の楽しさを学びます。

とき：カメラ製作は7月29日(土)、撮影・現像・プリントは30日(日)いずれも午後1時～4時 ▼定員：小学3～6年生と保護者15組 ▼指導：同館学芸員 ▼受講料：無料
▼申し込み：往復はがきに講座名、住所、電話番号、親子の氏名、子どもの年齢、学校名、学年を書き



7月 移動図書館

つぎのとおり巡回しますのでご利用ください。

(駐車時間) A=午後 0:30～2:00 B=午後 2:30～4:00
□ は、中央移動図書館 ☎26-6101
□ は、西部移動図書館 ☎45-5669

巡回日	時間	場所
7/4(火)	A	富雄元町一丁目 第1エクセルハイム駐車場
	B	富雄北一丁目 第2号街区公園前北(ロイヤルヒルズ富雄)
7/5(水)	B	東九条町モータープール(東松商店)
7/6(木)	A	八条町 八条橋保館駐車場
	B	秋篠サンパレス駐車場
7/6(木)	A	北登美ヶ丘三丁目 近商ストア北登美店駐車場
	B	四條大路南町 自治会館駐車場
7/7(金)	A	富雄公民館駐車場
	B	富雄北三丁目 児童公園前
7/11(火)	A	南永井町 第一児童公園前
	B	平城西公民館駐車場
7/11(火)	A	中登美ヶ丘一丁目 中央集会所前広場
	B	奈良ハイタウン 東入口
7/12(水)	A	東九条町 宮ノ森住宅集会所前
	B	西九条町 西九条会館駐車場
7/13(木)	A	帝塚山一丁目 第1号児童公園前
	B	帝塚山四・五丁目集会所 帝山荘前
7/14(金)	A	川上町 ケアハウス万葉駐車場
	B	青山六丁目 集会所前
7/14(金)	A	五条西一丁目 ライフストア西の京店駐車場
	B	法華寺駐車場
7/18(火)	A	丸山一丁目西部生涯スポーツセンター球技場駐車場
	B	富雄泉ヶ丘 第3号児童公園(ABC公園)前
7/19(水)	A	奈良市総合福祉センター駐車場
	B	三松ヶ丘 第1号街区公園
7/19(水)	A	富雄団地48号棟前 天の川小径
	B	佐保台二丁目 集会所駐車場
7/21(金)	A	平城第2回地集会所 なかよし広場
	B	右京五丁目 18棟前公園(丸太公園)
7/25(火)	A	学園大和町一丁目 第1号児童公園
	B	千代ヶ丘一丁目 集会所前
7/26(水)	A	菅原町 やまや駐車場
	B	平城東公民館駐車場
7/26(水)	A	右京三丁目 平城3号近隣公園
	B	二条町三丁目2番地 浅沼組社員寮
7/27(木)	A	伏見公民館あやめ池分館
	B	西大寺宝ヶ丘 自衛隊宿舎駐車場
7/28(金)	A	山陵町 信号機北側空地
	B	

〈中央・西部図書館からのお知らせ〉
7月の休館日は3日、10日、17日、20日、24日、30日、31日。

て、6月30日必着で同館へ。1枚に1組限り。多い場合は抽選。

週末はならまちコンサートへ

ならまち振興財団と市音楽協会が開きます。

とき：7月14日(金)午後6時半～8時半 ▼ところ：ならまちセンター(東寺林町) ▼定員：小学生以上300人
▼内容：市音楽協会によるアンサンブル・コンサート。木管五重奏によるパヴァー「サマー・ミュージック」、演奏会形式によるモーツァルト歌劇「フィガロの結婚」など ▼申し込み：往復はがきに催し名、住所、氏名、電話番号を書いて、6月30日必着で同センター(〒630-8362 東寺林町三八) ☎二七一五二一へ。1枚に1人限り。多

東老春の家

〒630-8113 法蓮町一七〇二一 ☎二四一三二五

健康講座 とき：6月29日(木)午後1時半～3時 ▼講師・テーマ：奈良教育大学名誉教授の近藤英男さん・「生きがいと健康」 ▼対象：60歳以上の人とその家族 ▼申し込み：不要。

スポーツ

スポーツ施設を開放

学校5日制開放(小学3～6年)と一般開放を実施します。
中央体育館(法蓮町) とき：7月8日(土)一般開放は午前9時～正午

軽スポーツ教室

成人、高齢者を対象に軽スポーツの教室を市教育委員会、市体育指導委員協議会が開きます。

とき：6月28日、7月26日の毎週水曜日午前9時～正午 ▼ところ：済美地区ふれあい会館(南京終町) ▼種目：ターゲット・バードゴルフ、囲碁

ボール ▼受講料：無料 ▼申し込み
：はがきに住所、氏名、年齢、電話番号を書いて、6月21日までに同会館
（南京終町二〇一―一）へ ▼問い
合わせ：同委員の吐山さん（☎三二一
一七二七）へ ▼その他：駐車場を使
用しますので、車での来館は遠慮してく
ださい。用具は主催者側で用意します。

青空ラジオ体操会に 参加しませんか

夏休み中、学校や各
種団体に自主的にラジ
オ体操会を開いてもら
おうと参加を呼びかけ
ています。



自主参加をしようと
する団体などは、7月
7日までに市役所体育課へ届けてくだ
さい。出席カードを7月18日以降に渡
します。

公民館

各公民館の教室への申し込みは、
往復はがきに教室名、住所、氏名
（ふりがな）、年齢（学年）、電話番
号を書いて、締め切り日必着で各公
民館へ。はがき1枚に一人1教室。
多い場合は抽選。受講料は不要。材
料費・交通費は自己負担。

西部公民館

〒631-0036 学園北二丁目一―一四
☎四四一〇一〇一

家庭看護（介護）入門

高齢者の健康維持や日常生活をサポート

トするため、家庭でできる看護（介
護）の知識や技術を身につけます。

とき：7月11日

（火）12日（水）19日

（水）21日（金）午前9

時半～午後3時半

▼講師：日本赤十



字社奈良県支部員

▼内容：体の移動、食事、排泄、入浴、

床ずれ予防など ▼定員：4回とも出

席できる成人30人 ▼教材費：700円

▼締め切り：6月25日必着

ふれあいパン工房 とき：7月16

日・30日、8月20日の日曜日午前10時

～午後1時半。3回 ▼定員：3回と

も参加できる小学生と保護者二人1組

で18組 ▼材料費：1組3千200円（3

回分） ▼締め切り：6月29日必着

▼その他：昨年の参加者は受講できま

せん。

柳生公民館

〒630-0237 柳生町二四〇
☎九四一〇五〇四

万葉の花を訪ねて

万葉集に詠まれた花や草木を、社寺
などの現地学習で学びます。

とき：7月14日～12月8日の毎月第

2金曜日午前10時～正午。6回 ▼定

員：成人30人 ▼講師：万葉の花研究

家の片岡寧豊さん ▼締め切り：6月

28日。

煎茶道入門教室

煎茶のお点前を初歩から学びます。

とき：7月11日～12月12日の毎月第

2・4火曜日午後7時半～9時。10回

▼定員：中学生以上15人 ▼締め切り

：6月28日。

南部公民館主催事業

奈良を探る・歴史（中近世）講座 ～南都の名産とくらし～

奈良は、古代の都として栄えましたが、都がう
つた後も奈良の人々はこの町を愛し、懸命に育
ててきました。今回は、それらのようすを新しい
研究の成果も加え学びます。

	と き	講師・テーマ
1	7月12日（水）	帝塚山大学短期大学部名誉教授の安彦勲吾さん 「いろいろな名産品 奈良暦」
2	7月26日（水）	堺女子短期大学教授の浅井允品さん 「奈良人形（一刀彫）」
3	9月13日（水）	県立民俗博物館学芸課の横山浩子さん 「奈良晒～近世南都を支えた布～」
4	9月27日（水）	関西大学文学部教授の高橋隆博さん 「赤膚焼」
5	10月11日（水）	帝塚山大学短期大学部名誉教授の安彦勲吾さん 「奈良の筆と墨」
6	10月25日（水）	帝塚山大学短期大学部名誉教授の安彦勲吾さん 「絵地図類」

時間はいずれも午後1時半～3時半

▼定員…全回受講できる成人50人 ▼申し込み…往復は
がきに講座名、住所、氏名、（ふりがな）、年齢、電話番号
を書いて、6月30日必着で南部公民館（〒630-8434山
町27-1 ☎62-5931）へ。多い場合は抽選。

生涯学習センターだより

ギャラリーの利用について



センター開館一周年記念事業での展示

生涯学習活動をして
いる自主グループなどの
絵画、書道、工芸などの
学習成果の発表の場と
して、各種展示に利用
できます。

<使用要領>

- ▶ 広さ…約135㎡ ▶ 使用期間…火～日曜日（1週
間単位） ▶ 申請受付…使用日の3か月前～前日
- ▶ 開館時間…午前9時～午後9時 ▶ 休館日…毎週
月曜日、国民の祝日 ▶ 使用料…無料 ▶ 可動パネ
ル…1.2m×2.9m 40枚 ▶ 利用の制限…営利使用
など、利用できない場合があります。

【問い合わせ】同センター（☎26-8811）へ。

市民体育大会夏季大会(水泳競技)

【と き】7月16日(日)午前9時から開会式

【と ころ】県営プール(三条大路一丁目)

【参加資格】中学生以上の人。在勤・在学も可

【種別・種目】①中学・高校男子=自由形100・400m、平泳ぎ・背泳ぎ・バタフライ100・200m、個人メドレー200m、リレー・メドレーリレー400m②中学・高校女子=自由形・平泳ぎ・背泳ぎ・バタフライ100・200m、個人メドレー・リレー・メドレーリレー200m③30歳未満男子=自由形・平泳ぎ・背泳ぎ・バタフライ100m、個人メドレー・リレー・メドレーリレー200m④30歳未満女子=自由形・平泳ぎ・背泳ぎ・バタフライ50m、個人メドレー・リレー・メドレーリレー200m⑤30・40・50・60歳代、70歳以上の男女=自由形・平泳ぎ・背泳ぎ・バタフライ50m(30歳代男子は自由形・平泳ぎは100m)



【出場制限】リレー・メドレーリレーを除き1人1種目。団体からの出場は1種目2人以内(リレー・メドレーリレーを除く)、超える場合は個人参加。また、各種リレーは一団体一組

【申し込み】市役所体育課備え付けの用紙に必要事項①氏名②年齢(中・高校生は学年)③性別④自宅の住所・電話番号⑤勤務先または通学先と住所・電話番号⑥出場種目・種別を書いて、6月29日必着で同課へ。なお、個人の場合は、はがきによる申し込みも可

【問い合わせ】市水泳連盟の厚井愼美さん(☎48-8291)へ。

もっと広げよう ごみ減量・リサイクルの輪

～昨年度は3,400トンの「再生資源」を回収できました～

私たちが捨てようとしているごみの中には、きちんと分けることで原料としてくり返し使うことができる資源があります。

市民みなさんの協力により、以前はごみとして処理していた多くの廃棄物を「再生資源」として回収できました。

今後も限りある資源を守るため、再生資源の分別収集に協力をお願いします。



昨年度(平成11年4月～12年3月)一年間の再生資源回収量

品目	回収量(t)	リサイクルすると これぐらいになります
ガラスびん	2,294.03	ビールびん(大びん) 約382万4,000本分
アルミ缶	186.52	アルミ缶(350ml) 約932万6,000本分
スチール缶	405.12	スチール缶(350ml) 約675万2,000本分
ペット ボトル	360.77	卵パッケージ(10個分) 約3,600万個分
飲料用 紙パック	145.70	トイレットペーパー 約81万個分

【問い合わせ】市企画総務課(☎71-3001)へ。

環境清美工場に搬入されたごみ量の比較(単位:トン)

	平成10年度	平成11年度	ごみ量比較
4月	13,060	10,760	△2,300
5月	11,800	11,029	△771
6月	11,964	10,797	△1,167
7月	12,570	11,038	△1,532
8月	12,047	10,874	△1,173
9月	12,050	10,110	△1,940
10月	11,910	10,189	△1,721
11月	11,136	10,578	△558
12月	13,535	12,042	△1,493
1月	9,908	9,341	△567
2月	9,271	8,812	△459
3月	11,745	10,136	△1,609
計	140,996	125,706	△15,290

ごみ袋は、中身の分かる透明・半透明(着色も可)の袋を使用してください。

健康のコーナー

保健センター (二条大路南一丁目1-30 ☎ 34-1111)
 奈良診療所 (二条大路南一丁目1-28 ☎ 34-1111)
 総合医療検査センター (柏木町519-5 ☎ 33-7876)

乳児健康相談

▶対象…平成11年11月生まれの子。問診票を送りますが、6月1日以降の転入者などで届かない人は直接会場へ ▶内容…身体計測、運動発達の観察、問診、育児・栄養指導 ▶問い合わせ…市役所健康増進課へ。

7月 受付は午前9時半～10時半

と き	と ころ
10日、12日、17日、19日、24日、26日	保健センター

4か月児健診

▶対象…平成12年3月生まれの子 ▶受診期間…満4か月になった日から1か月以内。問診票は送りますが、6月1日以降の転入者などで届かない人は市役所健康増進課へ ▶内容…身体計測、問診、内科診察 ▶受診場所…市内指定医療機関 ▶持ち物…問診票、母子手帳 ▶料金…無料。

1歳6か月児健診と妊産婦歯科健診

1歳6か月児健診
 ▶対象…平成10年11月生まれの子。問診票は送りますが、6月1日以降の転入者などで届かない人は直接会場へ ▶内容…身体計測、内科診察、歯科診察、口腔衛生指導、保健指導

妊産婦歯科健診
 ▶対象…妊産婦。直接会場へ ▶内容…歯科診察、口腔衛生指導

【問い合わせ】市役所健康増進課へ。
 受付は午後1時15分～2時15分

と き	と ころ
7/6、7/13、7/27、8/3	保健センター

3歳6か月児健診

▶対象…平成8年12月生まれの子。問診票は送りますが、6月1日以降の転入者などで届かない人は直接会場へ ▶内容…視聴覚問診、身体計測、検尿、歯科診察、内科診察、口腔衛生指導、栄養指導、保健指導 ▶問い合わせ…市役所健康増進課へ。

7月 受付は午後1時15分～2時15分

と き	と ころ
4日、11日、18日、25日	保健センター

ツベルクリン反応検査・BCG接種

結核予防のため、ツベルクリン反応検査をし、2日後に陰性のときはBCG接種を行います。

▶対象…ツベルクリン判定当日生後3か

月以上48か月未満の子で、未検査児と前回1回受けて陽性の子

〈受けられない子〉

①1年以内にひきつけ(けいれん)をおこした子(単純性熱性けいれんと診断された場合は、この限りではない)②ポリオ、麻しん(はしか)、風しん、おたふくかぜ、みずぼうそうの予防接種を受けてから各4週間、その他の予防接種を受けてから1週間たっていない子③B型肝炎(HB)ワクチンの接種を受けた子は3回完了後1週間あけてください④麻しん、風しん、おたふくかぜ、みずぼうそう、りんご病、手足口病の病気が治ってから4週間たっていない子、また家族などのだれかが上記の病気にかかっている場合は、それぞれの潜伏期間をあける必要があります⑤突発性発疹が治ってから2週間たっていない子⑥その他予防接種を行うことが不適当な状態にある子 ▶とき・ところ・対象小学校区…下表(他校区は順次掲載) ▶問い合わせ…市役所衛生課へ。

ツ反 検査	判定 BCG	実施場所	対 小 学 校 区
7/12(水)	7/14(金)	保健センター	西大寺北・富雄南・済美南
7/17(月)	7/19(水)	保健センター	大宮・平城・鼓阪
7/24(月)	7/26(水)	保健センター	伏見・左京・東登美ヶ丘
7/31(月)	8/2(水)	保健センター	済美・あやめ池・明治

時間はいずれも午後2時～2時45分
 ※当日は母子健康手帳を持参してください。

健康講座

総合医療検査センターが開きます。

と き	講師・内容
6/22(木)	眼科医の谷原秀信さん 「目の話」 ～白内障と緑内障を中心に～
7/6(木)	大学保健管理センターの山本公弘さん 「食生活を点検する」 ～生活習慣病予防の観点から～

時間はいずれも午後2時～3時半
 ▶ところ…総合医療検査センター ▶受講料…無料 ▶申し込み…不要。当日会場へ ▶問い合わせ…市役所衛生課または同センターへ。手話通訳があります。

アルコール問題奈良市民大会「酒を止めたい人のために」

▶とき…6月18日(日)午後1時半～3時
 ▶ところ…中央公民館(上三条町) ▶講師…医学博士の植松直道さん、県福祉センターの平尾文雄さん ▶受講料…無料 ▶申し込み…不要。当日直接会場へ ▶問い合わせ…奈良市アルコール関連問

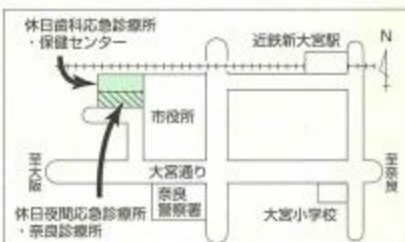
題懇談会事務局の藤井さん(☎61-4786)へ ▶その他…酒害相談を無料で開きます(午後3時～4時半)。

目の健康相談日

県眼科医会が無料で開きます。
 ▶とき…7月11日(火)午後2時～3時 ▶ところ…県医師会メディカルセンター(橿原市) ▶問い合わせ…県医師会内県眼科医会の池田さん(☎0744-22-8502)へ。

休日・夜間の急病診療

■休日夜間応急診療所(二条大路南一丁目奈良診療所 ☎34-1228) ▶診療科目…内科・小児科 ▶診療時間…休日=毎日曜・祝日午後1時～7時(受付は午後零時半～6時半)、夜間=毎日午後10時～翌朝6時(受付は午後9時半～翌朝5時半)。
 ■休日歯科応急診療所(二条大路南一丁目保健センター内 ☎34-3144) ▶診療時間…毎日曜・祝日午前10時～午後4時(受付は午前9時半～午後3時半)。



善意銀行

3月分

吉岡耕蔵(山陵町) 一万円
 ▼谷村光洋(北之庄町) おも
 ちや百個 ▼なら山万青年
 クラブ 五千円 ▼匿名(大
 森町) 五千円 ▼戸津政徳
 (三条松町) 五千円 ▼増井
 久貴(中山西三丁目) 百五十

二万八十三円 ▼羽賀謙五
 (帝塚山南二丁目) 手作り耳
 かき ▼関西学研都市センタ
 1(株) 九万九千九百四十円
 ▼中川たかあ(西大寺南町)
 二千円 ▼廣田久義(山陵町)
 五千円

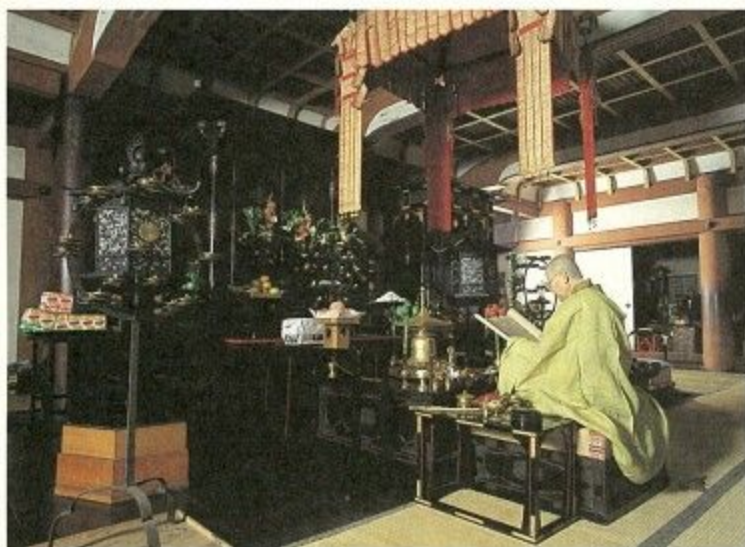


来月の こよみ

7月



奈良しみんだよりは再生紙を使用しています。限りある資源を大切にしましょう。



蓮華会式 (法華寺)

本尊十一面観音を供養し、夏の疫病の厄除祈願をする法要です。

これは、奈良時代に疫病が流行した際、光明皇后が「かや」を供えて疫病除けの祈願をしたことに基づく会式とされています。

夕刻から宝前に千灯明を献じ、ナス・桃など季節の生果を供え、ススキに色花を添えた供花を飾ります。そして、門跡以下尼僧たちの散華の後、観音経をととなえて厄除の祈願が行われます。

◆おもな行事予定◆

1土 半夏生 たなばたコンサート近藤嘉宏ピアノの夕べ (なら100年会館)	17月 蓮華会式 (法華寺)
2日	18火 ならまちの匠「奈良団扇」展 (～8月15日名勝大乗院庭園文化館) 同和教育ブロック別研修会 (～19日社会教育課) 人権文化の花を咲かすハートフル集会 (横井隣保館)
3月	19水 市立幼稚園・小・中・高等学校終業式 (学務課) ふれあいコンサート (古市隣保館) コーラスフェスティバル (文化振興課)
4火 同和教育ブロック別研修会 (～7日社会教育課) みんなで人権を考える集い (西之阪隣保館) 差別をなくす大安寺地区集会 (八条隣保館)	20木 海の日 外国人留学生との交歓のつどい (社会教育課)
5水 差別をなくす西中地区町民集会 (西中隣保館)	21金 ならマイカーひとやすみデー、ポイ捨て防止・アイドリングストップ街頭啓発 (環境交通課) 同和教育ブロック別研修会 (社会教育課)
6木 差別をなくす梅園地区町民集会 (梅園隣保館)	22土 大暑 由紀さおり・安田祥子童謡コンサート (史跡文化センター)
7金 小暑 七夕 井才天祭 (興福寺) 差別をなくす西之阪町民集会 (西之阪隣保館) 差別をなくす強調月間鼓阪地区集会 (東之阪隣保館) 差別をなくす南紀寺町民集会 (梅園隣保館)	23日 地藏盆 (福智院) 地藏会 (福せ替え法要) (伝書寺) 地藏会 (十輪院) 地藏会 (～24日帯解寺・龍泉寺ほか市内各所)
8土 ふれあいバドミントン大会 (サン・アビリティーズ奈良)	24月
9日 エントランスコンサート (音声館) なら100年会館子ども人形劇場 (なら100年会館)	25火 ならまち篝火コンサート (ならまち振興財団) 同和教育ブロック別研修会 (社会教育課)
10月 差別をなくす畑中地区町民集会 (畑中隣保館)	26水
11火 人権を確かめあう日 人権を確かめあう市民集会 (人権啓発センター)	27木 リバーウォッチング親子の集い (環境交通課)
12水 女性学講座 (18日・25日女性政策課) 同和教育ブロック別研修会 (社会教育課)	28金 解除会 (東大寺)
13木	29土 劇団四季ミュージカル「李香蘭」 (なら100年会館) 夏休み写真教室 (～30日写真美術館) 子どもエコクラブ自然探検隊 (環境交通課)
14金 武道土用稽古会 (～16日体育課) ならまちコンサート (ならまち振興財団) 同和教育ブロック別研修会 (社会教育課)	30日 母子家庭のデイキャンプ (児童課) 市民実技講座「書」の講習会 (文化振興課)
15土	31月
16日 えんまもうで (白毫寺) 市民体育大会夏季大会 (体育課) ならまちわらべうたフェスタ2000お手玉大会 (ならまち振興財団)	

大賞受賞作品

かげろいの日々 左近育子作

これまでのあらすじ

東大寺三月堂で、井村修二は不空羅索観音菩薩の前にひざまづき涙を流している女をみかけた。幼い子どもを失い、その苦しみから千手観音に救いをもとめていた妻涼子の在りし日の姿を思い出す。

父が残した町工場を兄と一緒に大きくしてきた井村だが、ガンを宣告された兄は、やがては息子に工場を継がせたい思いから、弟の井村を疎んじた。それを知った親友の石島光介が、奈良に來いよと電話をくれた。彼の世話で大学の非常勤講師として、妻の故郷奈良に移り住む決心を井村はしたのである。

その二

サラリーマンから変身して職人生活のようなことを長年やってきた者に大学の講師が勤まるのかと、井村は少々不安であった。

しかし、学者は専門知識は豊富だが世間とか社会とかいうものを知らなすぎから、むしろ大学の研究室から社会の第一線で頑張ってきた人の方がより幅広い視点で講義してもらえるのです、と学長は好意的だった。

これで決まりだよかったなどと、手放して喜んだのは井村より石島の方だった。

「ぼろ家が空いてるから、とりあえずはそこをねぐらにすればいい。もちろん

ん家賃なんぞいらん。嫌でなかったら涼子が使っていた部屋でもいいぞ、あそこは日当たりもいい」

学長と話がつき非常勤講師としてしばらく大学に勤めることが決まると、石島は素早く屋敷内の畳みも襖も取り替え、井村を迎える準備に張り切り出した。

かつて大学院を卒業するとき、一緒に奈良へ行かないかと石島が誘ったことがあった。

なんでも、地元で産業大学というのが新しくできて、その大学へ引っ張られていたのだと石島はいつた。

奈良ねえ。そのころの井村には関東生まれのせいも、奈良はまほろばの国、あこがれてたまに行くのがふさわし

いところという思いが強かった。

石島は東京で勉強して故郷に戻ったわけだが、井村は都落ちするような思いがあつて東京からは離れられなかった。

「涼子がね、どうもお前のこと好きらしいんだ」

石島が井村を奈良に誘ったのには、それがあつたようだ。

涼子は石島光介の母の妹の子供だった。

涼子は早くに母親と死に別れ、筆職人だった父親は女遊びに夢中になり夜帰って来なくなり、泣いている涼子を見かねて石島の母が引き取ったらしい。

「ぼくが十三歳のとき、涼子は九歳で

この家に来たから、妹みたいなもんだ」

井村は大学の春休みや夏休みには石島に誘われて奈良によく来たが、石島の傍らにはいつも涼子がくっついていた。

石島光介の家は老舗の造り酒屋だった。屋敷の庭の奥に大きな酒蔵があつた。井村は屋敷の離れに何日も泊めてもらい、石島と涼子の案内で奈良を歩き回った。

大学院を出て石島は奈良で大学の講師、井村は東京の工作機械メーカーの研究所にと歩む道は別れたが、涼子が二人をつなぐ糸になってしまった。

学生生活最後のとき、奈良に来た井村に石島の母が正面切つて言った。「涼子は早うから親に縁のない子供で



したが、気立てのいい娘ですよ、涼子はどうかやら井村はんを好いてるみたいですよ。お嫌でなかったらあの子貰うてやってくれませんか」

ずばり言われて、井村はうろたえた。自分の心の奥を読まれていたようでどきまぎもした。

そのときどう返事したか忘れたが、その後二、三年あつて涼子と結婚したのである。

あれから二十年、涼子を失つたいまになって、この家に住むことになろうとは夢にも思わなかった。

一人息子の光介が造り酒屋を継がずに人に任せたため酒蔵や作業場には屋敷内からは行き来しないように庭が竹垣で仕切られ、封鎖されてある。お好きな土蔵が離れの奥にあり縁側づたいに見える庭は荒れていた。それが妙に怪しい感じがする。

親父が脳卒中で倒れ仕事ができなくなったのをいいことにして、親父を隠居させて、店の者に任せてしまったと言っていたが、屋敷まで空き家にして大学の近くの丘陵地帯に新しく家を建てたらしい。

百五十年続いた地酒屋の暖簾のれんをあつさりとの手に渡してしまつた石島の思いきりの良さに感心した。

一旦東京に戻り、引越し荷物を運送屋に頼んで奈良に来てみると、屋敷は真つ新に生まれ変わつていた。

「どうだ井村、少しは住み心地よくなつたらう」

「お父さんなんか、もう張り切つてしもうて、子どもみたいにはしゃいだりしてるんやもん」

着いた荷物の整理を手伝いに来てくれた石島の娘が笑つた。

「ひかりちゃん幾つになつた」

「十七歳。もうすぐ高校三年」

「じゃ来年は大学受験で大変だね」

「まあね、でも勉強嫌いやねん」

と首をすくめて笑つた。その笑顔が若い時の涼子になんとなく似ている気がした。

「こいつ、だれに似たのかほんまに頭

わるいんじゃ。大学と名のついたところへ行かれんぞ」

「いいではないか、元気が一番さ。うちのようになんて死んでしまつては言いたい文句も言えないぞ」

「そうだな、全くそうだよな。あの鬼

は可哀想だった。あまりにも早すぎたからな。生きてりやたしか中学三年生だよな。あんなことなけりや涼子だつて気が変になんぞはならんかつただろうし」

石島はしんみりと言つた。

まったくその通りだ。運が悪かつた

といえはそれまでだが、そう言い切つてしまえない重いものを背負いつづけ

て生きて来たように井村には思えた。

息子の卓也が死んだのは三歳の時だ

つた。

買い物に近くのスーパーへ行つての

奈良文学賞応募者内訳

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	不明	合計
奈良県	2	4	7	10	16	18	2	2		61
奈良市	1	3	3	6	7	6	2	1		29
その他	1	1	4	4	9	12		1		32
大阪府		1	4	2	5	4		1		17
京都府			1		3	1	2		1	8
兵庫県		1		3	1		2			7
滋賀県						1				1
愛知県		1			1					2
静岡県									1	1
東京都			2	3	2				1	8
埼玉県			1							1
神奈川県			3	2	1					6
千葉県				1						1
群馬県				1						1
広島県								1		1
山口県			1							1
福岡県					1					1
香川県			1							1
宮城県			1							1
北海道				1		1				2
合計	2	7	21	23	30	25	6	3	4	121

帰り道、自転車であつて涼子が曲がり角で転倒した。そのとき一緒に乗せていた卓也が道路の真ん中に投げ出され、運悪く前から走つて来た自動車に撥ねられた。

卓也はすぐに病院へ運ばれたが、意識不明のまま二日後に死んだ。

その日は雨が急に降り出して、傘を持っていないかつた涼子のかんりのスピードのまま角を曲がろうとして転倒した。

卓也を轢いた自動車の運転手はなにしろいきなりでしたからね、と言いつめたことばかり並べ責任はこちらに無いという態度だった。

わたしが悪かつたのよと、隣の奥さんが目を腫らし泣いていた。雨の中を走っている涼子を見つけて、傘を貸そうと声を掛けたそうさ。駅へ子どもを迎えに行こうと傘を二本持っていたので一本貸そうと思つたらしい。

声が聞こえて振り返りざまに転んだと、隣の奥さんは泣いた。わが子を自分の不注意で死なせてしまったという思いに涼子は苦しんだ。腰を強く打ち膝のサラにヒビが入つた程度で済んだ彼女は、自分が生きていることに罪悪感を持ち悶え苦しんでいた。

仏壇の前に座り込んだまま泣き狂い、何日も食事もしなかった。

自殺でもされなかつたかと思ひになり、井村は職場から何度も家に電話した。

四十九日が済んだころから涼子はよく空を眺めるようになった。やっと心が落ち着いて来たのかと井村は思っていた。

しかし、それは涼子がおかしくなる前兆であった。

「あのとき、わたしを呼んだのは誰だったのかしら」

「あのときって？」

「自転車の後ろ振り返っても誰も居なかつたのに」

「さあね」

わざとほけた口調で井村は言った。

あのとき妻に声かけたのは隣の奥さんだった。だがそのことは口にしないほうがいい。奥さんは随分そのことを気にしていたから、涼子が忘れていくればかえってお互いたすかるのだ。

井村が黙っていると、しばらく考えていた涼子は小声でポツリと言った。

「やっぱりだれかいるわ」

「えっ」

「後ろでときどき聞こえるの」

「何が？」

「わかんない。そう感じるだけ」

奇妙なことをいうと思ったが、神経が疲れているせいだろうと井村は軽く思った。

そのころはまだ工作機械メーカーに勤めていた。川崎工場の社宅にいた。

家にばかり閉じこもってばかりいる涼子を気晴らしにと川崎大師に連れて行つた。

お参りをしての帰り涼子は何度も参道に立ち止まって振り返つた。どうしたのかと聞くと、だれかがわたしを呼んでいるという。参道を歩く人を見たがどれも声を掛けてはこなかつた。

「あれは仏さまだったのよ。やっぱり」

わが子をこの手で殺したと我が身を責め抜いていた涼子が、一周忌が済んだ後でぽつんと言つた。

「仏さまがわたしを呼んでいるわ、会いに行かなきゃ」

「へいへい」

「わかんない」

その日から涼子を連れて井村は寺参りをはじめた。

日曜ごとに近くの寺をまわり、たまには泊まりがけで関東一円の主だった寺々を回つた。出掛けることで妻の心が晴れてくれたらと井村は思つた。

しかし、涼子の心はいっこうに晴れそうになかつた。

「違うわやっぱり」

「なにがだよ」

「わかんない。でも違うの」

賽銭さいせんをあげ仏に手を合わせておきながら首を捻るのであつた。

妻が何を言いたいのかわからなかつたが、彼女の心が満たされてないことだけはわかつた。

「もう寺参りはよそうか」

そういうと、涼子は首を横に振つた。

「わたしに声をかけた仏さま探さない。見つかるまでは」

涼子の目はつよく訴えていた。

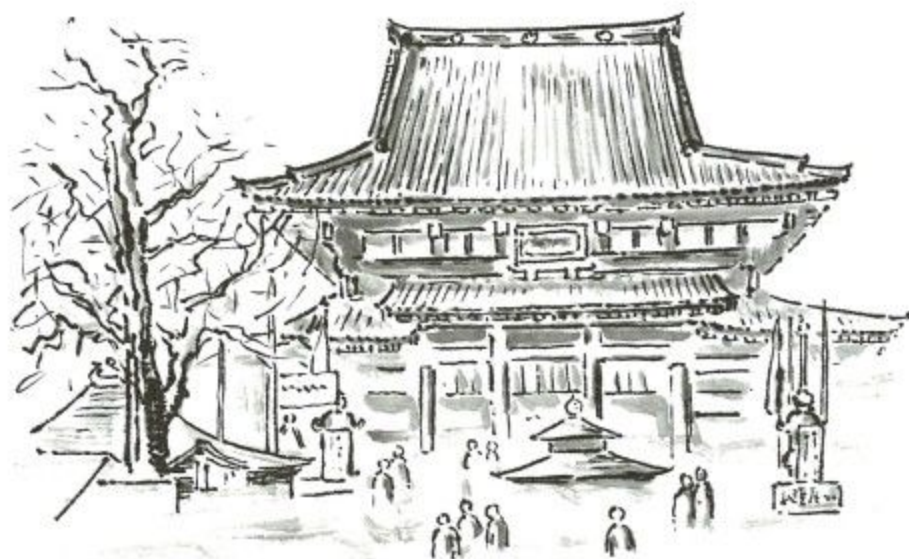
そのとき井村は自分が大きな過ちを犯しているような気がした。

仏にすぎることでの妻の傷ついた心が癒されるのなと思ひ立ち、寺めぐりをしてはいたが、妻はただ一つ自分に声をかけた仏だけを探し求めていたのだ。寺を連れ歩いていくことが、たんな

る徒勞でしかなかつたのかと思うと、どおつと疲れた。

それにしても妻に声をかけた仏というものが本当にありうるのか。あのと声をかけたのは隣の奥さんだった。妻の耳に何が聞こえたか知らないが幻聴ともいえるものを真剣に追い求めようとする涼子は、もはや異常な精神を持ち合わせていると思へなかつた。

兄弟夫婦に相談すると、一度精神科の



先生にみせたほうがいいと知り合いの医師に電話をしてくれた。

「お子さんを」くされたショックが大きかったのでしょう。よくあることです。日常の生活は普通になさっておられるのだから入院する必要はないでしょう。根気よく奥さんの耳に聞こえたという仏を見つけてあげるのも治療法の一つです」

「聞こえた仏なんて言われても」

「隣の奥さんの声でも仏に思えたということが重要なのです。おそらくこの人



の中には仏が棲んでいるのでしよう。いままで生きてきた中で、もともと強い印象を受けた仏像とか、幼い頃いつも眺めていた仏さまといった類いのものです」

つまり彼女のルーツをたずね歩くのも方法の一つだと医師は言った。

週二回の講義と月一回のセミナー担当を任されて、新米講師の井村は結構忙しく日を過ごしていた。

学問とか研究などというものから長い日々遠ざかっていただけに、一週間にたった二回の講義といえども、二時間立て続けにしゃべるといことは大変なことだった。文献を集め資料を作成し、いかに学生達に興味を持って聴いてもらえるかが勝負だった。

まるで学生に戻ったような気分でご書館に通い詰めた。各企業の実態調査や開発部門の現状を調べて回ってデータを作成したり、二、三カ月は瞬くうちに過ぎていた。週二回の非常勤講師では収入は乏しく小遣い銭にしかならなかったが、井村は毎日が楽しかった。

兄に疎んじられながら倒れかかった工場の立て直しに躍起になっていた頃の日々は悪夢の中にいたような気がする。その後工場の方はうまく行っているのか、兄の体の調子はどうか気にかかる余裕も無かった。

すべてをなげうってきたのだから向こうのことは考える必要もないわけだが、病身の兄を見捨てて来たという負い目は体のどこかに潜んではいるのだ。それを払拭するかに井村はいまの仕事に没頭していた。

あたふたしている間に東大寺二月堂のお水取りの時期に入っていた。テレビのニュースで、修二会の様子を報道していた。

十一面観音悔過は本尊の前で罪を懺悔し諸願の成就を祈る法会で、選ばれた十一人の僧侶が秘仏の大観音と小

観音の前ですべての人々の罪を我が身に引き受けてひたすら祈り続けるという。

寛文七年松明の火が燃え移り全焼した二月堂は二年後再建され、それ以来欠くことなく三月十二日には籠松明が夜空に舞うのである。

学生時代、石島に誘われてお水取りを見に来たのが、井村が奈良に来た最初であった。

冷えきった空気が凜と張り詰めた暗い境内、ひしめくように集まった群衆の中を、涼子に手を引っ張られて歩いていた。

「ぼおっとしてはったら迷子になるわ」

涼子は人垣をぐいぐい押しわけ、井村の手をきつく握りしめていた。少しでも前の方へいこうというのである。石島を兄ちゃんと呼んでいた涼子は、はじめて出会った兄の友達に恥じらうこともなく少女のような無邪気さで井村の手を引っ張り続けていた。

「松明の火の粉浴びたらその一年病気せえへんのやて、ええこともあるんやて」

天下泰平、五穀豊穡を祈って二月堂の舞台を籠松明を大きく掲げた童子が走った。夜空に火が躍り、はらはらと頭上に火の粉が舞い降りてきた。わあっと群衆が歓声を上げ、アチッと涼子は笑った。

あの無邪気だった子が悲しみばかりを背負って生きたのだと思うと胸が熱くなりそうだった。